



おにぎり通信

2018年3月24日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

翌週3月31日(土)の訪問活動(おにぎり配布)と、4月2日(月)の福祉行動は都合により、お休みとなります。申し訳ありませんが、よろしく願い申し上げます。



☆3月12日(月)の福祉行動報告

1名参加されました。

Aさん(60代)生活保護を申請されました。

次回の福祉行動：4月9日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに集合してください。

車輪の前に「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。

福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。

福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自分の希望をご自分の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます

最寄りの福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

ひぐちいちよう 樋口一葉

146年前の3月25日は樋口一葉の誕生日です。樋口一葉は、「流れる水にも淵や瀬があるように、人の世にもよいときと悪いときがある。」という言葉を残しています。樋口一葉の浮き沈みの多い人生を端的に表した言葉のような気がします。

樋口一葉は、「大つごもり」、「にごりえ」、「わかれ道」、「たけくらべ」など多くの名作を残し、お金の肖像画にもなりましたが、彼女の文筆活動は、父親が亡くなった後、一家を支えるためのもので、決して作家になりたくてなったということとはかけ離れていました。また、病弱でさまざまな病気に悩まされ、24歳という若さで結核で亡くなってしまいました。

結核はかつて死の病と恐れられましたが、現在ではきちんと治療すれば治る病気です。症状はかぜとまったく同じですが、かぜとは違い、症状が長く続きます。特に、栄養状態が悪かったり、生活の状態が良くないとかかりやすくなります。もし、咳が長く続くなど、少しでも気になることがあったら、生活相談などを利用して病院を受診することをおすすめします。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先: 080-7795-8535